

水稻・麦・大豆栽培情報 12月号

平成 26年12月 1日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【小麦】

1 大豆後の遅播き対策

播種が12月中旬～下旬となる場合は、10a当たり播種量を7～8kg、12月下旬以降となる場合は9～10kgに増やします。基肥量は、大豆後の基準どおり施用してください。

2 雑草防除

スズメノテッポウなどの雑草が毎年多く発生するほ場では、播種直後の土壌処理剤の散布が効果的です。

ボクサー(乳剤)、キックボクサー細粒剤Fの残効はおよそ50～60日程度、ガレースG(粒剤)の残効はおよそ40～50日程度です。その後に発生する雑草に対しては、ハーモニー細粒剤F(雑草発生始期まで)やハーモニー75DF水和剤(スズメノテッポウ5葉期まで)を散布します。いずれも、散布時期が遅れると効果が低下しますので、適期を逃さずに散布することが重要です。

(1) 出芽後も処理できる土壌処理剤

| 農薬名 | 使用時期 | 使用量(10a当り) | 備考 |
|-----------|----------------------------|------------|-----------------|
| ボクサー(乳剤) | 播種後～ 麦2葉期 | 400～500ml | 希釈水量 70～1000 |
| | 〔雑草発生前～ 発生始期〕 | | |
| ガレースG(粒剤) | 播種後～発芽前 | 4～5kg | |
| | 〔麦1～2葉期 雑草発生前～ 発生始期〕 | | |

※ボクサー、ガレースGともに麦2葉期まで使用できますが、なるべく早く散布した方が効果的です。

※ボクサーを雑草の発生始期に使用した場合、効果が発現するまでに時間がかかる場合があります。

(2) 生育期処理剤

| 農薬名 | 使用時期 | 使用量 (10a 当り) | 備考 |
|------------------|---|-----------------------|---------------------------|
| ハーモニー細粒剤 F | 播種後～ 麦3葉期まで 〔雑草発生前～ 発生始期〕 | 4～5 kg | ハーモニー細粒剤 F とハーモニー75DF 水和剤 |
| ハーモニー75DF 水和剤 | 麦1葉期～ 節間伸長前まで 〔スズメノテッポウ 5葉期まで〕 | 5～10 g (希釈水量 100L) | <u>はいずれか一つしか使用できません。</u> |

※ハーモニー75DF 水和剤は、雑草の発生を確認してから散布します。

※カズノコグサやタデに重点をおいた防除を実施する場合は、ハーモニー75DF 水和剤を1月下旬～2月上旬に散布するのが効果的です。

3 麦踏み・土入れ

麦踏みは、麦3葉期から2月下旬頃の莖立期までに3～5回程度実施します。麦踏みは、麦の分けつ促進と倒伏防止の効果がありますが、ほ場が湿っていると、土壌を締めつけ生育を抑制してしまふことがありますので、土壌が十分乾燥した状態で行ってください。

土入れは、無効分けつの抑制、雑草抑制や排水対策などの効果があります。1月上～中旬頃から3月上旬にかけて2～3回程度実施します。追肥後に行うと、肥効が安定する効果もあります。土入れも、なるべく土壌が乾燥した状態で行ってください。

なお、土入れは麦踏み前に実施し、麦踏み直後にはしないようにしましょう。

4 排水対策

麦は湿害に弱いため、ほ場の排水性が麦の収量や品質に大きく影響を及ぼします。降雨後の水がほ場に停滞しないよう、排水溝の整備を十分に行ってください。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（農薬基準）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！